

14時30分解禁

平成27年12月 全国百貨店売上高概況

平成28年1月18日

I. 概況

1. 売上高総額	7,098億円余
2. 前年同月比	0.1% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	82社 238店 (平成27年11月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,035,271㎡ (前年同月比:-0.9%)
5. 総従業員数	77,098人 (前年同月比:-1.4%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	5-7月 3.3%、6-8月 2.2%、7-9月 2.7%、 8-10月 2.9%、9-11月 0.9%、10-12月 0.3%

【参考】平成26年12月の売上高増減率は-1.7% (店舗数調整後)

【12月売上の特徴】

全国的に気温が高く、西日本では記録的な降水量となる厳しい条件下、クリスマス週を中心とする月後半の追い上げを活かし、0.1%増と2か月ぶりのプラスを記録した。

地区別では、天候条件などを受けた神戸と広島がマイナスしたがそれ以外の10都市は揃って前年を確保し1.3%増。10都市以外の地区は2.4%減に留まり両地区の差は縮小。

商品別では、主要5品目のうち衣料品を除く4品目が前年を上回り、特に雑貨は+8.0%と9か月連続増。一方、11月と同様に平均気温が高く推移したため、重衣料の動きが鈍く、主力の衣料品は5.2%減に終わり、全体を底上げすることが出来なかった。

細分類のうち、化粧品(+15.3%)が18地区全て、美術・宝飾・貴金属(+6.3%)も15地区で前年を超え、それぞれ9か月連続で前年確保。加えて菓子(+2.3%)、惣菜(+1.8%)も堅調。

訪日外国人動向は、購買客数が47.9%増(約23万人)、売上高も38.2%増(約177億円)と35か月連続でプラスを継続し、消耗品シェア(22.2%)も着実な実績を残している。

なお、平成27年年間売上高は既存店ベース(店舗数調整後)で0.2%減と僅かながら4年連続の増には至らず。また、全店ベース(店舗数調整前)でも0.6%減に終わった。訪日外国人については客数が約250万人(+163%)、売上は約1,943億円(+162.4%)と好調を維持。

【要因】

- (1) 天候：気象庁発表「12月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
◇寒気の南下が弱く気温の高い日が続いたため、全国的に平均気温がかなり高く、特に東日本の月平均気温は12月として統計開始以来1位の高温(平年差+1.9℃)となった。また、北・東日本海側を除き降水量が多く、西日本太平洋側では同じく統計開始以来12月として1位の多雨(平年比279%)を記録した。
- (2) 営業日数増減 31.0日(前年同月比+0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 9日(〃 ±0日)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見える傾向値/前年同月比/有効回答数139店舗)
①増加した：41店、②変化なし：55店、③減少した：43店
- (5) 12月歳時記(歳暮、クリスマス商戦、年末年始商材)の売上(同上/有効回答数116店舗)
①増加した：23店、②変化なし：67店、③減少した：26店

全国百貨店 売上高速報 2015年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	709,827,947	100.0	0.1 (-0.1)
10都市	482,193,738	67.9	1.3
札幌	18,010,456	2.5	1.4
仙台	10,344,781	1.5	2.0
東京	183,455,485	25.8	2.2
横浜	42,649,796	6.0	0.1
名古屋	45,685,738	6.4	0.9
京都	28,612,555	4.0	3.1
大阪	93,953,036	13.2	0.7
神戸	19,453,547	2.7	-1.4
広島	15,682,717	2.2	-1.2
福岡	24,345,627	3.4	1.2
10都市以外の地区	227,634,209	32.1	-2.4 (-3.0)
北海道	3,530,488	0.5	-2.7
東北	10,445,317	1.5	-1.0
関東	102,507,992	14.4	-3.9
中部	17,508,502	2.5	-1.3
近畿	29,839,931	4.2	-2.4
中国	15,684,507	2.2	0.0
四国	12,139,227	1.7	-1.1
九州	35,978,245	5.1	-0.2 (-4.2)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	709,827,947	100.0	0.1 (-0.1)
紳士服・洋品	46,519,941	6.6	-5.9 (-6.1)
婦人服・洋品	116,909,774	16.5	-5.6 (-5.9)
子供服・洋品	12,702,879	1.8	-0.1 (-0.3)
その他衣料品	13,835,935	1.9	-3.1 (-3.6)
衣 料 品	189,968,529	26.8	-5.2 (-5.4)
身のまわり品	90,603,358	12.8	1.2 (1.1)
化粧品	42,584,291	6.0	15.3 (15.1)
美術・宝飾・貴金属	41,830,405	5.9	6.3 (6.2)
その他雑貨	26,686,357	3.8	0.3 (-0.1)
雑 貨	111,101,053	15.7	8.0 (7.7)
家 具	6,907,149	1.0	3.9 (3.2)
家 電	1,463,915	0.2	-0.1 (-0.5)
その他家庭用品	21,541,243	3.0	2.5 (2.2)
家 庭 用 品	29,912,307	4.2	2.7 (2.3)
生 鮮 食 品	52,175,475	7.4	-2.9 (-3.1)
菓 子	67,951,997	9.6	2.3 (2.2)
惣 菜	54,646,750	7.7	1.8 (1.7)
その他食料品	78,648,125	11.1	0.0 (-0.3)
食 料 品	253,422,347	35.7	0.4 (0.2)
食 堂 喫 茶	15,898,497	2.2	-0.6 (-0.7)
サ ー ビ ス	5,912,851	0.8	-6.2 (-6.4)
そ の 他	13,009,005	1.8	3.9 (3.7)
商 品 券	28,932,510	4.1	-4.0 (-4.0)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 1.3% (2か月ぶりプラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -2.4% (店舗数調整後/2か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	1.3	0.9	2か月ぶりプラス
札幌	1.4	0.0	2か月ぶりプラス
仙台	2.0	0.0	2か月ぶりプラス
東京	2.2	0.6	9か月連続プラス
横浜	0.1	0.0	2か月ぶりプラス
名古屋	0.9	0.1	2か月ぶりプラス
京都	3.1	0.1	5か月連続プラス
大阪	0.7	0.1	2か月ぶりプラス
神戸	-1.4	0.0	2か月連続マイナス
広島	-1.2	0.0	2か月連続マイナス
福岡	1.2	0.0	2か月ぶりプラス
10都市以外の地区	-2.4	-0.8	2か月連続マイナス
北海道	-2.7	0.0	8か月連続マイナス*
東北	-1.0	0.0	2か月連続マイナス*
関東	-3.9	-0.6	7か月連続マイナス
中部	-1.3	0.0	2か月連続マイナス
近畿	-2.4	-0.1	2か月連続マイナス
中国	+0.0	0.0	2か月ぶりプラス*
四国	-1.1	0.0	2か月連続マイナス
九州	-0.2	0.0	2か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が9か月連続、身のまわり品、家庭用品、食料品が2か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品、美術・宝飾・貴金属が9か月連続、家具が4か月連続のプラス、その他雑貨、その他家庭用品、菓子、惣菜が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.1	—	2か月ぶりプラス
紳士服・洋品	－5.9	－0.4	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	－5.6	－1.0	2か月連続マイナス
子供服・洋品	－0.1	0.0	2か月連続マイナス
その他衣料品	－3.1	－0.1	2か月連続マイナス
衣料品	－5.2	－1.5	2か月連続マイナス
身のまわり品	1.2	0.1	2か月ぶりプラス
化粧品	15.3	0.8	9か月連続プラス＊
美術・宝飾・貴金属	6.3	0.3	9か月連続プラス＊
その他雑貨	0.3	0.0	2か月ぶりプラス＊
雑貨	8.0	1.2	9か月連続プラス
家具	3.9	0.0	4か月連続プラス
家電	－0.1	0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	2.5	0.1	2か月ぶりプラス
家庭用品	2.7	0.1	2か月ぶりプラス
生鮮食品	－2.9	－0.2	21か月連続マイナス＊
菓子	2.3	0.2	2か月ぶりプラス＊
惣菜	1.8	0.1	2か月ぶりプラス＊
その他食料品	－0.0	0.0	2か月連続マイナス＊
食料品	0.4	0.1	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	－0.6	0.0	2か月連続マイナス
サービス	－6.2	－0.1	6か月連続マイナス
その他	3.9	0.1	5か月連続プラス
商品券	－4.0	－0.2	58か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成27年12月 東京地区百貨店売上高概況

平成28年1月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1, 834億円余
2. 前年同月比	2.2% (9か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭1.6%(90.4%) : 非店頭7.6%(9.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成27年11月対比±0店)
5. 総店舗面積	857,392㎡ (前年同月比: 0.3%)
6. 総従業員数	18,855人 (前年同月比: -0.1%)
7. 3か月移動平均値	5-7月 8.1%、6-8月 6.4%、7-9月 6.1%、 8-10月 6.1%、9-11月 3.9%、10-12月 3.0%

[参考] 平成26年12月の売上高増減率は0.3%

【12月売上の特徴】

- (1) 月前半のマイナス基調を中旬以降の追い込みで挽回。クリスマス商戦などの反発を軸に入店客数は前年を確保(+0.7%)し、売上高も2.2%増と9か月連続で前年をクリアした。
- (2) 商品別には、主要5品目のうち暖冬の影響から重衣料の不振を受けた衣料品が前年を下回ったが、身のまわり品(+2.9%)と雑貨(+9.6%)が好調を継続したほか、歳末商戦の活況も寄与して食料品(+1.9%)が4か月連続で前年を上回った。
- (3) 細分類では、化粧品(+25.8%)、美術・宝飾・貴金属(+5.0%)が揃って9か月連続プラスを記録。また子供服(+5.2%)、その他の衣料品(+6.9%)、菓子(+3.5%)、惣菜(+4.8%)も堅調。
- (4) 個別商材では、コートや防寒商材が低調だった半面、薄手のジャケット、ワンピース、カットソー、パンツ、パンプスの動きが良かった。クリスマスケーキ、おせちは事前予約、店頭受注ともに好調で、歳暮ギフトもネット受注の堅調を活かす形で前年を確保した。
- (5) 年間売上高は、マーケットに対応した改装や催事が実績につながったことに加え、富裕層の旺盛な消費マインドやインバウンド効果も奏功。3.4%増の1兆6,310億円で4年連続前年を確保。特にラグジュアリーブランドを含む身のまわり品や美術・宝飾・貴金属などの高額品に加え、国内外の需要拡大を背景にした化粧品の好調が特筆される。
- (6) 1月は好天に恵まれ初商や福袋が好調なこともあって14日現在、前年並みで推移。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
 - ①増加した: 6店、②変化なし: 10店、③減少した: 2店
- (3) 12月歳時記 (歳暮、クリスマス商戦、年末年始商材) の売上 (同上/有効回答数13店舗)
 - ①増加した: 5店、②変化なし: 8店、③減少した: 0店

東京地区百貨店 売上高速報 2015年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	183,455,485	100.0	2.2
紳士服・洋品	14,233,287	7.8	-3.3
婦人服・洋品	27,606,721	15.0	-5.6
子供服・洋品	2,597,732	1.4	5.2
その他衣料品	3,205,821	1.7	6.9
衣 料 品	47,643,561	26.0	-3.6
身のまわり品	26,047,273	14.2	2.9
化粧品	12,333,660	6.7	25.8
美術・宝飾・貴金属	12,451,137	6.8	5.0
その他雑貨	7,643,514	4.2	-3.6
雑 貨	32,428,311	17.7	9.6
家 具	2,033,713	1.1	10.9
家 電	718,742	0.4	-0.5
その他家庭用品	6,055,473	3.3	11.4
家 庭 用 品	8,807,928	4.8	10.2
生 鮮 食 品	9,141,236	5.0	-1.0
菓 子	16,625,769	9.1	3.5
惣 菜	12,860,270	7.0	4.8
その他食料品	19,875,916	10.8	0.3
食 料 品	58,503,191	31.9	1.9
食 堂 喫 茶	3,570,456	1.9	1.3
サ ー ビ ス	2,331,809	1.3	-15.9
そ の 他	4,122,956	2.2	16.9

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率 (%)
商 品 券	6,031,365 千円	-1.1
従 業 員 数	18,855 人	-0.1
店 舗 面 積	857,392 m ²	0.3
営 業 日 数	31.0 日	前年 31.0 日

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品と雑貨が9か月連続、食料品が4か月連続、家庭用品が2か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品、美術・宝飾・貴金属、惣菜が9か月連続、子供服・洋品が6か月連続、菓子、その他食料品が4か月連続のプラス、その他衣料品、家具、その他家庭用品が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	2.2	—	9か月連続プラス
紳士服・洋品	－3.3	－0.3	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	－5.6	－0.9	2か月連続マイナス
子供服・洋品	5.2	0.1	6か月連続プラス
その他衣料品	6.9	0.1	2か月ぶりプラス
衣料品	－3.6	－1.0	2か月連続マイナス
身のまわり品	2.9	0.4	9か月連続プラス
化粧品	25.8	1.4	9か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	5.0	0.3	9か月連続プラス*
その他雑貨	－3.6	－0.2	5か月連続マイナス*
雑貨	9.6	1.6	9か月連続プラス
家具	10.9	0.1	2か月ぶりプラス
家電	－0.5	0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	11.4	0.3	2か月ぶりプラス
家庭用品	10.2	0.5	2か月ぶりプラス
生鮮食品	－1.0	0.0	2か月連続マイナス*
菓子	3.5	0.3	4か月連続プラス*
惣菜	4.8	0.3	9か月連続プラス*
その他食料品	0.3	0.0	4か月連続プラス*
食料品	1.9	0.6	4か月連続プラス
食堂喫茶	1.3	0.0	2か月ぶりプラス
サービス	－15.9	－0.2	6か月連続マイナス
その他	16.9	0.3	5か月連続プラス
商品券	－1.1	0.0	10か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

全国百貨店 売上高速報 2015年01月～2015年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後（ ）が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全 国	6,174,278,636	100.0	-0.2 (-0.6)
10都市	4,164,630,259	67.5	1.2 (1.1)
札幌	154,816,822	2.5	-0.3
仙台	86,231,638	1.4	-1.6
東京	1,631,066,566	26.4	3.4
横浜	365,358,837	5.9	-0.9
名古屋	392,221,246	6.4	-0.5
京都	248,979,799	4.0	-3.2 (-5.2)
大阪	788,384,666	12.8	1.6
神戸	161,340,997	2.6	-0.7
広島	131,284,285	2.1	-1.9
福岡	204,945,403	3.3	0.9
10都市以外の地区	2,009,648,377	32.5	-3.0 (-3.9)
北海道	31,131,925	0.5	-6.1
東北	98,854,418	1.6	-4.3
関東	922,086,754	14.9	-3.8 (-3.7)
中部	150,675,515	2.4	-3.0
近畿	265,299,734	4.3	-2.5
中国	139,441,241	2.3	-2.3
四国	102,925,056	1.7	-2.2 (-5.3)
九州	299,233,734	4.8	-0.9 (-5.9)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	6,174,278,636	100.0	-0.2 (-0.6)
紳士服・洋品	423,987,947	6.9	-2.1 (-2.4)
婦人服・洋品	1,298,079,816	21.0	-3.9 (-4.3)
子供服・洋品	150,767,929	2.4	-0.2 (-0.4)
その他衣料品	144,256,432	2.3	-5.2 (-5.7)
衣 料 品	2,017,092,124	32.7	-3.4 (-3.7)
身のまわり品	811,230,186	13.1	0.7 (0.4)
化粧品	401,550,558	6.5	12.5 (12.2)
美術・宝飾・貴金属	358,825,178	5.8	8.0 (7.7)
その他雑貨	239,794,268	3.9	-0.3 (-1.2)
雑 貨	1,000,170,004	16.2	7.6 (7.1)
家 具	72,588,615	1.2	-7.2 (-7.6)
家 電	17,580,680	0.3	-5.0 (-5.3)
その他家庭用品	196,654,157	3.2	-1.5 (-1.9)
家 庭 用 品	286,823,452	4.6	-3.3 (-3.6)
生 鮮 食 品	344,190,134	5.6	-2.7 (-3.3)
菓 子	466,636,817	7.6	0.4 (0.1)
惣 菜	371,200,828	6.0	0.7 (0.3)
その他食料品	519,660,424	8.4	-0.1 (-0.7)
食 料 品	1,701,688,203	27.6	-0.3 (-0.8)
食 堂 喫 茶	172,133,905	2.8	-0.8 (-1.0)
サ ー ビ ス	65,877,854	1.1	-3.6 (-3.8)
そ の 他	119,262,908	1.9	-0.1 (-0.7)
商 品 券	175,422,561	2.8	-5.3 (-5.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

東京地区百貨店 売上高速報 2015年01月～2015年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	1,631,066,566	100.0	3.4
紳士服・洋品	137,598,952	8.4	2.5
婦人服・洋品	307,898,661	18.9	-1.3
子供服・洋品	32,531,652	2.0	4.9
その他衣料品	31,108,349	1.9	-1.9
衣 料 品	509,137,614	31.2	0.1
身のまわり品	237,857,008	14.6	7.1
化粧品	116,821,647	7.2	25.7
美術・宝飾・貴金属	110,317,300	6.8	10.0
その他雑貨	72,050,505	4.4	-2.2
雑 貨	299,189,452	18.3	12.1
家 具	21,564,511	1.3	-6.2
家 電	10,461,606	0.6	-2.4
その他家庭用品	56,290,562	3.5	5.1
家 庭 用 品	88,316,679	5.4	1.2
生 鮮 食 品	63,345,132	3.9	-0.7
菓 子	111,444,224	6.8	1.4
惣 菜	87,166,997	5.3	2.5
その他食料品	130,457,501	8.0	1.0
食 料 品	392,413,854	24.1	1.2
食 堂 喫 茶	38,813,722	2.4	1.2
サ ー ビ ス	27,439,077	1.7	-6.0
そ の 他	37,899,160	2.3	2.9

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	37,349,941 千円	-4.7
従 業 員 数	228,253 人	-0.1
店 舗 面 積	10,276,588 m ²	-0.5

営 業 日 数	30.3 日	前年	30.3 日
---------	--------	----	--------

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>